

父と聞く蜻蛉のつるむ羽音かな

野本 京

昭和五十九年、第十二回「鷹新人賞」受賞。「格がない、品がない」と不評の中、飯島晴子の推薦の弁は有難く嬉しかった。「オーバーなところが意外といやでないし、わりと地面にくさびがくつついているところがある、体ごと言ってる・・・」

昭和五十八年作